



※今月のみ受注の書目です。

国際情勢 (中国)

中国と台湾 (仮)
危機と均衡



平積み

(2025年6月中旬刊行予定)

松田康博 (東京大学東洋文化研究所教授) [著]

A5 判並製 / 432 頁 税込予価 3,960 円 ISBN978-4-7664-3037-0 C3031

👉 ココに注目!

- なぜ中国と台湾はこれまで衝突してこなかったのか?
- 中台関係と軍事戦略の第一人者が今後起こりうる展開を解説!
- 今後の日本がとるべき立ち位置にも示唆を与える一冊。

身近にありながら、日本人には捉えにくい中国と台湾の関係性。なぜ危機となる局面が起りながらも紛争は起きずに現状が維持されてきたのか? この重要な問いに対し、中国・台湾それぞれの国内状況の変遷にともなう関係の変化を丹念に検証し、今後起こりうるケースを検討していく。

対象 一般 (中台関係に関心のあるビジネスパーソン) / (中国政治を専攻する) 研究者・学生

類書 松田康博・福田円・河上康博編『「台湾有事」は抑止できるか』(勁草書房)

【営業部からのおすすめポイント】

中国と台湾の関係については、「中国による統一」や「台湾の独立」といった単純で極論的な言説が横行していますが、本書はこの分野の第一人者が歴史的経緯や今後起こりうるケースをわかりやすく解説します。局所的なニュースに右往左往せずに中台関係のメカニズムを理解することができる注目の一冊です。ぜひ積極的な展開をお願いいたします!

(乙子)

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 台湾海峡で戦争は起こるのか？——中台の分断から現在まで

第一部 危機と均衡の歴史

第1章 台湾海峡問題の起源

はじめに／中国大陸と台湾の統合と分断／アジアの冷戦と中台対立の起源／
中国の「平和統一、一国二制度」政策と米中国交正常化／台湾の民主化と中国の天安門事件／
同床異夢の交渉と軍事的威嚇の繰り返し／おわりに

第2章 アイデンティティ政治と戦争回避——陳水扁政権と胡錦濤政権の闘争

はじめに／陳水扁政権成立当初の宥和的政策／陳水扁政権の急進化と中国の「反国家分裂法」制定／
国連加盟公民投票と第17回党大会と胡錦濤報告／「関与・ヘッジ戦略」の再定義／おわりに

第3章 経済的依存から政治的依存へ——馬英九政権と胡錦濤・習近平政権の協調

はじめに／関係緩和政策の展開／台湾の対中国経済関係と対中国政治意識の変化／
政治関係開拓の模索と中台「首脳会談」／おわりに

第4章 隠忍自重と過剰反応——蔡英文政権と習近平政権の冷たい平和

はじめに／蔡英文政権への圧力と支援／習近平政権の「統一促進政策」とトランプ政権の対抗策／
香港情勢の深刻化と蔡英文の再選／米中の綱引きから逃れられない台湾／おわりに

第5章 米中「新冷戦」の代理戦場——蔡英文政権と習近平政権の外交・軍事闘争

はじめに／コロナ禍をめぐる闘争／強まる中国の圧力／米中の戦略的転換と台湾／劣勢に陥る蔡英文政権／
ロシア・ウクライナ戦争の影響／解放軍の大演習と習近平の三選／おわりに

第二部 危機と均衡の未来——今後、何が起こるのか

第6章 武力統一と限定的武力行使——「信則無、不信則有」

はじめに／全面侵攻による武力統一／中国が抱える戦略的・戦術的矛盾／限定的武力行使の可能性／
国際的な抑止態勢の形成——増大する第三者の役割／おわりに

第7章 ハイブリッド戦における問題——非平和的手段の行使とその時間軸

はじめに／「平和統一」政策の範囲内にある現状変更／台湾海峡の危機／戦争に関するタイムライン／おわりに

第8章 中台関係の将来シナリオ——四つの未来

はじめに／方法論——シナリオ・プランニングの手法／中台関係の現状と趨勢／
シナリオ・プランニングによる中台関係の将来像／おわりに

終章 将来の展望——戦争は起こるのか？ 均衡は維持されるのか？



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		松田康博 著 中国と台湾 (仮) —危機と均衡 ISBN978-4-7664-3037-0 C3031	3,960 円	★★★★

★1つで「500部」を表します